明学だより

第 43 号
R8年11月



















9月に入り雨の降る日が続きましたが、そのためか、例年と比べてかなり過ごしやすい秋口となっています。明石学園の子どもたちは天候にも恵まれ、勉強、寮生活、作業、運動など、日々の生活を頑張っています。

クラブ活動では、男子が8月 27 日に香川県で開催された全国児童自立支援施設の野球大会で 23 年ぶりの優勝を飾り、日本一となりました。10 月 22 日には兵庫県庁に出向き、副知事に表敬訪問する機会を持ちました。女子も京都府で行われた近畿バレーボール大会で日ごろの練習の成果を存分に発揮してくれました。

子どもたちはこの度の学園祭に向けても練習を積み重ね、合唱の歌声を毎日校舎に響き渡らせています。学園祭に出席された皆様には、是非、子どもたちの日ごろの練習の成果だけでなく、その後ろを支える日々の生活の頑張りを感じ取っていただければと思います。



教務第2課長　手島教介

行事報告

8月から10月までの学園行事をお知らせします♪

盆踊り会



8月5日に盆踊り会が行われました。盆踊り会に向けて、約1週間前に講師の先生方に踊りを教えていただきました。当日は講師の先生方にもお越しいただき、みんなで一緒に盆踊りを楽しみました。女子は浴衣を着て、この日だけは髪型も自由に！！いつもとは違う特別な装いに、夏祭りの雰囲気も一層高まりました。男子はやぐらの上で太鼓を叩き、みんなでその周りを囲んで踊りました。また、からあげやポテトチップス、ラムネ、スイカ、アイスなどの屋台やゲームもあり、こども会の皆さんにも参加していただきました。夏の思い出に残る、楽しいひとときとなりました。

園内水泳大会

8月31日に園内水泳大会が行われました。
大会に向けて、日々練習に取り組んできたこどもたち。初めは泳ぐことが苦手だった子も、練習を重ねる中で泳げるようになり、一人ひとりの頑張りや成長が感じられる大会となりました。また、レクリエーション競技では寮長を浮き輪に乗せてこどもたちが運ぶリレーを行いました。普段とはひと味違う競技に、会場は大盛り上がり！笑顔と歓声に包まれながら、みんなで楽しい時間を過ごしました。



薬物乱用防止教室

9月7日に、明石市少年サポートセンターの方にお越しいただき、薬物乱用防止教室が行われました。薬物乱用の恐ろしさや心身に及ぼす影響について教えていただきました。市販薬などを決められた量や方法を守らずに使用するOD(オーバードーズ)も薬物乱用にあたることを知り、身近な薬にも正しい使い方があること学びました。また、近年問題となっている闇バイトについても、勧誘の具体的な手口や、誘われたときの対応、困ったときの相談先などを教えていただきました。こどもたちにとって、自分自身を守るために必要な知識を学ぶ貴重な機会となりました。

小学生修学旅行

9月14日・15日の2日間、小学6年生3名が広島へ修学旅行に行きました。原爆ドームや広島平和記念資料館では、実際に被爆した衣服や当時の写真などを目の当たりにし、戦争の悲惨さや平和について学びました。教科書だけでは知ることのできない当時の人々の苦しみや、原爆がもたらした被害について、一人ひとりが考える貴重な機会となりました。また、大和ミュージアムやお好み村、宮島水族館にも足を運び、広島の歴史や文化、自然に触れることができました。
仲間とともに過ごした2日間は、平和についても深く考えるとともに、楽しい思い出もたくさんできた修学旅行となりました。






広島の旅、ぼくたちの一句

修学旅行で心に残った思い出を、小学生２名がそれぞれ一句にしてくれました。
２名ならではの視点が詰まった俳句をご紹介します。



アパホテル　うもうふとん　ふかふかや！

さくら寮　Ｋさん

船に乗り　新幹線も　めっちゃよう



さくら寮　Ｉさん

トライやるウィーク






中学2年生から3年生の生徒が、地域の事業所で職場体験を行いました。今回は、4か所にご協力いただき、それぞれの職場でさまざまな仕事を体験させていただきました。自動車整備や洗車、飲食店での注文取りや配膳、畑作業など普段の生活ではなかなか経験できない仕事に挑戦しました。実際に働く方々の姿に触れながら、仕事の大変さややりがい、責任を持って取り組むことの大切さを学ぶ貴重な機会となりました。今回の経験が、自分の将来や働くことについて考えるきっかけになればと思います。

お忙しい中、こどもたちを温かく受け入れ、ご指導いただいた事業所の皆様、本当にありがとうございました。

秋祭り








長年にわたり続いてきた秋祭り。新型コロナウイルス感染症の影響で一度は中止となりましたが、昨年、規模を縮小して再開し、今年は以前の規模に戻して開催することができました。この秋祭りは、明石焼きひろめ隊をはじめ、地域の皆様の温かいご支援とご協力によって支えられています。当日は、明石焼きひろめ隊による明石焼きの振る舞いや、豪華景品が当たるじゃんけん大会、うさぎの会による焼きそばの提供がありました。また、明石夜店の会の皆様からは、アイスや福玉焼き、わたがしのほか、スーパーボールすくいや射的など、こどもたちが楽しめる催しをたくさんご用意いただきました。さらにふじやんによるスペシャルライブも行われ、会場は大いに盛り上がりました。こどもたちはおいしい食べ物や楽しい催しに大喜び！会場いっぱいに笑顔と歓声が広がり、思い出に残る楽しいひとときとなりました。

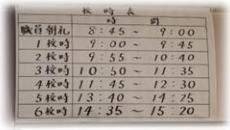
長年にわたり、こどもたちのために心を寄せ、秋祭りを支えてくださる地域の皆様に、心より感謝申し上げます。本当にありがとうございました！！

分教室の紹介

明石学園内には、明石市魚住中学校の分教室が設置されており、こどもたちは毎日、園内の学校に登校して授業を受けています。午前中は4時間の授業を受け、昼食の時間には一度寮へ戻ります。寮で昼食をとり、後片付けを済ませた後、再び学校へ登校し、午後の授業に取り組みます。

また、昨年度の寮代表者会議では、「昼休みを10分延ばしてほしい」という意見が多くのこどもたちから寄せられました。その声を受け、今年度から昼休みが10分延長されました。

こどもたちの意見が実際の生活に反映され、より充実した学校生活につながっています。





中学生教室　授業の様子



小学生教室
授業の様子











未来ポスト

明石学園では、児童生徒が楽しく規律正しい学園生活を送ることを目指し、日々の生活、学校教育、クラブ活動、農園芸・作業指導等を通して、児童の特性に応じた指導を行っています。学校教育において、分教室の教育課程は、明石市教育委員会の指定教科書を使用し、普通学級に準じた内容で行っています。『生きる力を育み　未来へ切り拓く力を養う』を教育目標に掲げ、児童生徒と教職員が一丸となり日々、学習活動に取り組んでいます。

明石市魚住中学校　明石学園・清水ヶ丘学園分教室
教頭　加藤　良光

お知らせ

明石学園の基本理念・方針を兵庫県ホームページに掲載しています。また『チャボナビ』にて学園の行事や日常の様子も更新しておりますので、下記の QR コードをスマートフォンで読み取っていただきますと、アクセスが可能です。是非、ご一読賜りますと幸いです。

チャボナビからは、月に1度見学会を実施しておりますので、明石学園にご興味のある方はそちらの方からお問い合わせください。

心よりお待ちしております。

〈兵庫県 HP〉　〈チャボナビ〉

【編集より】

今年も第50回近隣地区親善バレーボール大会が開催されました。学園からは支援員と実子たちがチームを組んで参加！普段はこどもたちを支える支援員も、この日は選手としてコートに立ちました。チームの合言葉は『パワフルかあちゃん！』。力を合わせ、声を掛け合いながら、元気いっぱいプレーしました。普段の仕事とはまた違った一面を見せてくれた、パワフルかあちゃんたちでした！



小原　茜

＼明学だより４３号／

大特集！！



野球部



全国制覇！

8月27日・28日に香川県にて行われた、全日本少年野球大会では見事、優勝を果たしました！
男子児童全員での野球！女子児童と職員も現地へ駆け付け、明石学園一丸となって応援しました。
野球部監督と主将から、コメントをいただきました！ぜひ、ご一読ください！

『 野球部を振り返って 』

僕は、今年野球部のキャプテンとして学んだことは、僕は最初のころ、野球のことが全く分からなくて、初めて野球の練習が始まった頃ルールが全く分からなくて、不安がいっぱいだったんですけど、3か月～4か月経ってやっとルールが分かってきて、練習試合などルールが分かれば楽しく感じることを学びました。

悔しかったことは、最初セカンドで頑張って練習に取り組んでいたのですが、足がどんどん痛くなってきて、3か月～4か月練習できず、キャプテンとして、声出しなどをさせてもらったのですが、大会で準備に入れなかったことです。頑張ったことは、キャプテンとして大きな声を出し、日々練習に励み、近畿大会や全国大会で、ランナーコーチをさせてもらって、僕には声を出したり、代打で出させてもらうことしかできなかったんですけど、近畿大会で点を取られた時に下を向いている仲間がいて、その時に、声を出し、上を向いてプレーしてくれて近畿大会も優勝し、全国大会でもランナーコーチをさせてもらって、良い雰囲気を作れるように、大きな声で切り替えれていない仲間がいたりしたら言って、全国大会も優勝し、キャプテンとしてチームを最後まで、まとめきることができたことです。うれしかったことは、近畿大会で優勝し、全国大会でも二十三年ぶりに優勝できて監督の練習に、みんながしんどくてもついて行って、練習に取り組み、全員参加で１人１人が声をかけ合って、良いチームで、全国大会も、優勝という成績を残し、野球部を良い雰囲気で、終わらせることが出来たことです。

今年のチームは、みんなが声をかけ合って協力し、最後まで、あきらめずに頑張れる良いチームでした。

男子野球部主将　Ｓさん

『 感謝 』

こんにちは。この度、第77回全日本少年野球大会で23年ぶりに優勝しました。この結果は、原籍校やこども家庭センター、保護者の皆様の応援や支援があってのことと思います。心より感謝を申し上げます。

私は監督業を通して、後悔したことがあります。近畿大会で、ここ数年負け続けている相手との対戦が決まった時に不安な気持ちが込み上げ、全国大会では、前回優勝施設とは違う山になることを強く願っていました。蓋を開けると、選手は練習以上の力を発揮し、数々の試練を乗り越えることができました。その時私は、選手の成長を感じる以上に選手を信じきれなかったことへの後悔の念に駆られました。まだまだ未熟です。今回の優勝は、選手から貰った試練だと思い、来年度も明石学園野球部に歴史を刻めるよう頑張ります。監督の強い意志、そして今の強力なコーチ陣と保母先生方がいれば、それは可能であると確信します。







ありがとうございました。
野球部監督　角南　公洋

バレーボール部



近畿児童自立支援施設女子バレーボール大会

10月23日には、京都府にて近畿児童自立支援施設女子バレーボール大会が行われました。結果は、惜しくも予選リーグ敗退となりましたが、全員で力を合わせ、楽しくプレーができた大会となりました。
バレーボール部監督と主将から、コメントをいただきました！ぜひ、ご一読ください！

『 バレーボール部を振り返って 』

バレーの練習が始まって少しの間、私はバレーが苦手でした。運動が得意ではなかったということと、バレーはチームプレーなのでミスをしてしまって、迷惑をかけてしまうことが怖かったんです。でも、ミスをして仲間が私に言う言葉は、「オッケードンマイ！」「大丈夫、次取ろう！」でした。監督も「失敗オッケー！」と励ましてくれます。仲間とそうやって声をかけ合っていく8か月の間に苦手だったはずの、ボールをひたすら追いかけること、チームで声を出すことがいつの間にか好きになっていました。

一番自分と戦ったのは、キャプテンになったときだと思います。もっと上手な子がいる中で、運動のできない奴なんかがキャプテンをやっていいのか、何度も思いました。でも監督に「キャプテン」と呼ばれる度に、しっかりやらないと、せっかくキャプテンにしてもらったのだから声を出して盛り上げないと、そんな気持ちになりました。声を出して、全力でトスを上げることができた今の私がいるのは、サポートしてくださった先生方や、温かい言葉をかけてくれた仲間たちのおかげです。6人しかいない、代わりのいない少ない中で、メンバーたちはすごく頑張ったと思います。練習は、厳しい時もありました。しんどいと思ってもおかしくなかったと思います。でもみんな監督とコーチにしがみついて、進んでいきました。この6人の1人でも欠けていたら、こんなに楽しいチームはなかったと思っています。試合の結果は、2敗1勝でした。決勝リーグへ行くことは叶いませんでした。でも私は満足しています。全員が全力を出して、次の日声がカスカスになるくらいまで声を出して、成功したらみんなで集まってやったー！って言い合う、そんな楽しい温かいチームで終われたことが嬉しいからです。優勝という形で終えることは出来なかったけど、この日々は、私の一生の宝物になると私は思います。

女子バレーボール部主将　Ｓさん

今年も2月頃から練習をスタートし、児童と一緒にたくさん練習を重ねてきました。入所してくる児童の発達特性が年々難しくなり、バレーが思う様にできなかった時期もありましたが、大会当日には何とか試合が出来る人数、そして気持ちが1つになり戦うことが出来ました。今年は京都府にある亀岡総合体育館で行われました。予選リーグは4チームの総当たり戦。優勝候補ばかりのリーグとなりましたが最後まで思う存分戦い、結果決勝リーグには勝ちあがることはできませんでしたがとても有意義に子ども達は戦ってくれたと思います。

女子バレーボール部監督　上村優一









野球部全国制覇　＆

バレーボール大会打ち上げ

10月27日には、野球部全国制覇＆バレーボール大会の打ち上げが焼肉キングで行われ、みんなで楽しいひとときを過ごしました。

